

ジヤトコ株式会社

所在地:富士市 創業:平成11年 資本金:299億3,530万円 従業員数:6,649人
(男性6,107名、女性542名) 業種:変速機および自動車部品の開発・製造及び販売

◆長時間労働の削減に向け、労働時間の「見える化」を推進するとともに、法律に先んじて勤務間インターバル制度を導入するなど、社員のQOL(生活の質)の向上を目指す。

・労働(残業)時間をリアルタイムで把握し、長時間労働を抑制するとともに、法律の施行に先んじて勤務間インターバル制度を導入するなど、社員のQOL(生活の質)を上げることに最優先で取り組んでいる。



(きつかけ) 取組前

労働(残業)時間管理

- ✓ 残業時間管理が、月末になり、36協定で定めた限度時間ぎりぎりであることに気づき、業務調整を急遽行うケースがあった。
- ✓ 働き方が多様化し、管理職のみならず、一般社員についても36協定や労務管理について理解する必要性が増した。

育児・介護休暇等の制度理解

- ✓ 法定の育児・介護休暇や企業独自の結婚休暇などの制度はあったが、「事例に応じて、どのような会社の制度を利用できるか理解したい。」という声が聞かれた。

在宅勤務

- ✓ 在宅勤務について、週16時間を上限として定めていたが、まとまった在宅勤務を希望するケースが発生した。

取組後(効果)

労働(残業)時間の適正化

- ✓ 労働時間がリアルタイムで把握できるようになり、迅速な対応が図れるようになった。

休暇制度の利用率向上

- ✓ 休暇取得に対する理解度が上がり、休暇が取れないという苦情や問い合わせがなくなった。

在宅勤務の利用率向上

- ✓ 在宅勤務の利用率が向上し、効率的に業務が行えるようになり、労働生産性が向上した。
- ✓ 平成27年7月プラチナくるみん認定取得。
- ✓ 平成30年11月静岡労働局ベストプラクティス企業に選定。

取組内容や仕組み

労働時間の「見える化」の取組を推進

- ✓ 間接部門については、パソコンのログオン・ログオフ時間を自動的にデータとして集積するほか、リアルタイムでの労働時間管理が行えるようにした。
- ✓ データは人事部門と各部門の管理者が随時確認できるようになったほか、設定された「限度時間」に近づくと、人事部門から注意喚起メールを送信することとした。
- ✓ 労働時間管理に関する「手引き」を作成し、管理者のみならず一般社員にも社内インフラを経由して周知・啓発を図った。

業務効率化の推進

- ✓ 電子メールや会議を有効かつ効率的に進めるガイドを「Mailing Way」「Meeting Way」として設定した。

勤務間インターバル制度の導入

- ✓ 健康管理維持を目的に勤務間インターバル制度を法制化に先んじて2018年4月より導入。

「仕事と出産・育児の両立支援ハンドブック」の作成

- ✓ 出産・育児に関わる制度やフローをまとめたハンドブックを作成。利用者の上司も理解できるような内容にまとめた。

在宅勤務制度を拡充

- ✓ 在宅勤務の上限について、週16時間から月64時間へと規制の緩和を行った。